

YCU【公立大学法人横浜市立大学 平成26年度計画概要図】

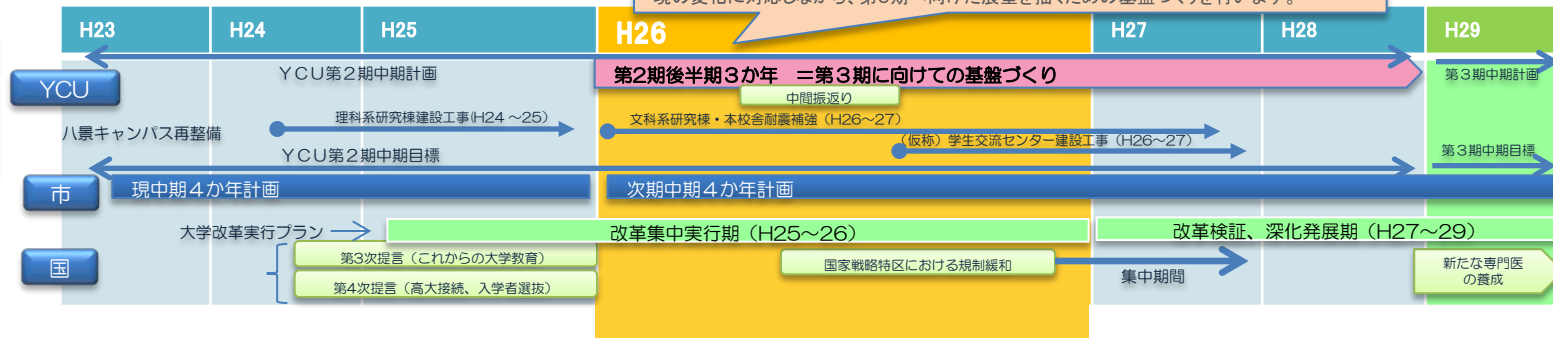
横浜市立大学
YOKOHAMA CITY UNIVERSITY

《YCUミッション》

横浜市立大学は、国際都市横浜における知識基盤社会の都市社会インフラとして、特に教育研究・医療の拠点機能を担うことをその使命とし、社会の発展に寄与する市民の誇りとなる大学を目指す。

※国際化、地域貢献は、教育、研究、医療という本学における全活動の共通目標です。

平成26年度は「第2期中期計画(23~28年度)」の4年目にあたり、折り返しの1年目です。引き続き中期計画の達成に向けて教育・研究・医療に取り組むとともに、大学を取り巻く環境の変化に対応しながら、第3期へ向けた展望を描くための基盤づくりを行います。



大学を取り巻く状況と対応のキーワード

★18歳人口減少・超高齢社会の到来 → 大学間競争激化と社会人学生確保、求められる医療の変化 等

★国による大学政策の一層の推進 → グローバル化、研究競争力の向上 等

★社会の人材育成ニーズの高まり → 高大接続、中小中堅企業の国際化・技術革新、女性活用・社会人教育 等

★規制緩和と産業競争力強化 → 国際戦略総合特区(H23~)、国家戦略特区(H26~)、産学連携の更なる推進 等

第2期(～H28)・第3期(H29～34)

YCUとしての考え方・取組

★横浜市と協働する取組

- ・市「未来のまちづくり戦略」を支える役割(人材育成、経済活性化、都心部機能強化 等)
- ・特区におけるライフイノベーション推進
- ・COC事業を通じた地域人材開発・拠点づくり
- ・高大接続(市立高校との連携事業の実施、市立高校英語科教員向けの研修の実施、スーパーグローバルハイスクールへの協力 等)
- ・市保健医療計画の推進、市立病院との連携

★金沢区域での取組

- ・COC事業を通じた地域活性化(サテライト拠点)
- ・地元企業との関係強化

★神奈川県での取組

- ・県内病院への医療人材配置
- ・総合診療医の育成
- ・県立高校との連携拡充(スーパーグローバルハイスクールへの協力 等)
- ・企業や研究機関との研究開発

★その他

- ・2020東京オリンピック・パラリンピック開催支援

教育・学生支援

◇学生の国際経験の推進と英語教育の強化

- ・アカデミックコンソーシアムのネットワークを活用した学生交流の充実及びSUDP(持続可能な都市開発プログラム)の拡充
- ・ベネチア大学、タマサート大学との交換留学プログラム開始
- ・海外フィールドワーク支援プログラムの充実
- ・eラーニング等を活用したPractical English授業の強化及びPE取得後の医学科生のレベルアップを目的としたAdvanced Practical Englishのクラスを新設
- ・英語で学ぶ科目拡充に向けてのFDの実施

◇地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)の推進

- ・中小企業やNPOと連携し、金沢シーサイドタウンの活性化や地域実践プログラムの活動のための拠点を整備
- ・地域の課題解決を担う人材育成のためのカリキュラム(地域実践プログラム等)の開始
- ・ボランティアセンター(仮称)の設置による窓口の一元化や学生ボランティア活動の全面的な支援

◇教育の質の向上に向けた取組の推進

- ・グローバル化や大学院の見える化に向けた教育の質的改革構想の具現化
- ・27年度の認証評価の受審に向けた自己点検の実施

◇医学教育の質の保証

- ・国際認証基準に適應する教育内容・体制・卒業時アウトカム(学習成果・実行能力)への見直し
- ・「総合診療医」の育成をはじめとした超高齢社会における地域医療の課題に対応した教育を行うための体制整備
- ・看護学科・2病院看護部の連携による看護学生・看護師のキャリア支援、実習の充実

◇入学から卒業、卒業後までの一貫したキャリア支援の実施

- ・入学から卒業、卒業後までの全学的キャリア支援体制の構築

法人経営

◇人材育成

職員の意欲や能力を高めるための各種制度の改善、YCUミッションの一層の共有

◇大学情報の積極的発信

SNS等の多様化された手法の活用、教職員の発信力の向上、地元企業・卒業生向け情報発信の充実

◇ガバナンス・コンプライアンス

公的研究費の適正管理、研究倫理体制の充実など、教育・研究・医療各分野でのコンプライアンス意識の一層の醸成

◇財源の多様化

金融情勢を踏まえた資金運用、YCUサポート募金の拡充などの多様化

◇卒業生との関係強化

大学と卒業生との関係を強化する基盤づくりや卒業生向け情報発信の推進(再)、寄附拡充(再)

研究

◇先端医学科学研究センターを拠点とした研究開発

- ・イノベーションシステム整備事業、再生医療実現化や難病遺伝子解析等の研究を更に充実・加速化させるための先端医学科学研究センター研究棟の増築
- ・国際戦略総合特区に位置付けられている企業と本学の研究者による新たな基盤技術や医療機器等の開発の推進

◇研究推進体制の整備、研究の充実・外部資金獲得

- ・URAシステムの推進、学際的・複合的ユニットによる外部研究費獲得に向けた取組と外部研究費獲得のための継続的な支援策の実施
- ・地域の課題解決を目的としたCOC特別枠による研究推進や大学院の見える化を目的とした研究テーマの検討
- ・臨床研究ネットワークによる多施設共同型試験の実施

医療

◇市の政策医療への対応・医療機能の充実

- ・市内の重度外傷患者を集中的に受け入れる「横浜市重度外傷センター(仮称)」の設置【セ】
- ・抗がん剤治療のニーズ増に対応した外来化学療法室の拡充【附】
- ・「ハイブリッド手術」実施環境整備による心臓血管医療の高度化【セ】
- ・手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」導入による高度な医療提供・外科医育成【附】

◇医師や看護師等の人材育成・確保・労働環境整備

- ・新しい専門医制度を見据えた「総合診療医」育成のための協力病院との連携
- ・2病院看護部・看護学科の連携による実践能力の高い看護師の育成
- ・女性医療者支援ワーキンググループでの支援策の検討

◇医療安全管理体制・病院の運営等

- ・部署・職種を越えた連携による医療安全文化の醸成・安全管理教育の徹底
- ・公立大学の役割を果たしつつ持続的に黒字決算を達成できる経営体質の確立

学術院における教員の連携促進

切れ目のない医療人材育成